

多くのことを学べます

友好都市中学生派遣団結団式

友好都市であるアメリカ合衆国・コンバス市との交流を深め、異文化に触れてもらおうと毎年行われている中学生派遣。その結団式が8月2日、市役所で行われました。市内の中学生16人の派遣団員たちは、各自の研究テーマや抱負を熱心に語りました。小野田^{おのだけんじ}市長は「失敗を恐れずにさまざまなことに挑戦してください」と激励。8月18日から10日間、団員たちは期待を胸に異国の地へと飛び立ちました。



生活リズムを見直そう

わくわくからだ探検隊

夏休み中で生活が不規則になりがちな小学生に、食事や生活のリズムなどについて考えてもらおうと7月28日、わくわくからだ探検隊が保健センターで行われました。この日は、市内在住の小学3、4年生の児童13人が参加。早寝早起きの大切さを学んだ後、サケのムニエルなどの料理に挑戦し、みんなで楽しく食べました。食後に歯磨きをし、磨き残しの歯こうを顕微鏡で観察して、丁寧に歯を磨くことの大切さを実感していました。



ナシを食べて、負けナシで

名古屋グランパスの選手へ 幸水梨の寄贈

みよし市の特産物を盛り上げようと、みよし市とJAあいち豊田みよし市果樹組合、株式会社名古屋グランパスエイトが連携し、名古屋グランパスエイト練習場で名古屋グランパスの選手たちにナシが寄贈されました。寄贈されたナシは、みよし市果樹組合の皆さんが育てた幸水梨^{さいすいり}60玉。みよし市果樹組合の岩田^{いわた}芳信^{よしのぶ}組合長がこのナシを食べて、負けナシで頑張ってくださいとエールを送り、練習後の選手たちに振る舞われました。



6位入賞の快挙

第62回愛知県消防操法大会

消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の進歩充実への寄与を目的に8月5日、第62回愛知県消防操法大会が碧南市で開催されました。みよし市消防操法大会で優勝した三好下分団が小型ポンプ操法の部で出場。操法要員たちは、正確な動作と好タイムで火点標的を倒しました。結果は15市町中6位で見事入賞。指揮者を務めた宮崎慎二みやざきしんじさんは「入賞を目標に練習してきたことが結果に結びつきました」と話していました。



会場は大盛り上がり!

第10回カローリング交流会

年齢を問わず気軽に楽しめるカローリングを通して、市民同士の交流を深めてもらおうと7月29日、総合体育館で第10回カローリング交流会が行われました。この日は、29チームおよそ100人が参加。会場には「赤色を狙うよ」など参加者たちの和気あいあいとした声が響き渡り、笑顔あふれる交流会となりました。参加した男性の一人は「思うように動かないところが難しく面白かったです」と笑顔で話していました。



エコキャップアートに挑戦

夏休みキッズボランティア塾

身近なボランティア活動を体験し、助け合いと社会貢献の意識を高めてもらおうと開催されている夏休みキッズボランティア塾。その第1回目が7月27日、福祉センターで開催されました。この日は市内の小学1年生から4年生までの児童10人が参加し、エコキャップを使って赤い羽根シンボルキャラクターの愛ちゃんあやちゃんと希望くんを作成。参加した男の子の一人は「キャップがうまくはまらなくて大変だったけど楽しかったよ」と話していました。

